

## 委員評価シート 自由意見

### 【経営課題 1】 住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり

(地域共生社会の実現)

- ハードルは高いが、いろいろな会合や集会、コミュニティに出てこない高齢者や障がい者が出向いてくれる取組み（人、場、コト）の検討をしてほしい。
- 地域福祉コーディネーター（つなげ隊）が地域の中で定着してきているように思う。
- つなげ隊等は認知度が低く、役目が果たしているのかがわからない。
- 良い取組み・事業をしているが、対象区民には知らない人が多いと思うので、もっと PR し、周知の工夫が必要だと思う。

(健康づくりへの支援)

- 食育フェスタ、講演会は区内 1 会場、年 1 回ではなく連合毎にでも年 4 回は開催をしてほしい。
- 高齢者に関心のある事業がいいと思う。
- ウォーキング教室は、鶴見緑地や歴史のあるまちを春夏秋冬、歳時記にあわせ楽しい企画の教室にしてほしい。ウォーキングの習慣づけは重要な取組みだと思う。
- ウォーキング教室の回数を増やしてはどうか。
- ウォーキングカレンダーは何部発行し、何部利用されているのか。
- 「健康寿命」の延伸について、役所として出来ることは健康についての啓発活動や広報活動等と限りがあると思う。
- 啓発については、勝手に視野に入る等「わざわざ」でない所での媒体を増やせたらいいと思う。
- 教室やイベントは、年に 1 回行うだけでは逃した場合、意識もできずあまり役に立たない気がする。

### 【経営課題 2】 子育てとまなびを応援するまちづくり

(安心して子育てできる環境づくり)

- ステップファミリーへの支援、コミュニケーションアップ: 生い立ちの異なる家族が一つになって仲良く明るく生活していくための心やテクニックのケア、学習機会の創造もこれからは特に重要ととらえている。また、妊娠された方への胎内教育の大切さを知ってもらおうリーフレット等の作成、配布に取り組んでほしい。

- 早期年齢で幼稚園・保育園に行くようになり、ニーズが変わってきていると感じる。

#### (社会教育の支援)

- 中高年の「ひきこもり」人口が増加しているが、社会との接点を持ち何らかの活動をすることは大切であると思う。
- 生涯学習一日体験や生涯学習セミナーの催しが、自分のしたいことを見つける「きっかけ」になればと思う。
- 生涯学習の一日体験等から地域生涯活動につながらない。
- 人権学習会は地域と密着しているので良いと思う。
- 校下別人権学習は、一部の方のみで周知されていない。
- 人権イベントに参加しようとするような意識の高い人に対して「新たな気づきがあった」と思わせるのはかなりハードルが高いと思う。

#### (学校教育の支援)

- 高度情報社会の進展で、子どもたちのネットマナー、ネット上での規律、情報リスクについて小学校高学年から「情報対応力」を学習する機会を創出してほしい。
- こども「夢・未来」講座は、子どもたちに良い影響がある。励みになっていると思う。
- 地域、保護者のニーズをとらえているのかわからない。

## 【経営課題3】安全なまちづくり

#### (災害に強いまちづくり)

- 災害状況別（暴風雨、地震（液状化、津波等））にハザードマップを作成、あわせて避難所も災害状況別に作成の検討が必要である。少なくとも連合町会レベルに落とし込みが必要である。
- 平成30年度に避難所開設運営訓練に参加し、非常に良い取組みと実感した。
- 学習会は、防災に日頃から関心をもたせ、イザという時に役立つと思う。
- 災害が起こった時、基本になるものは自助、共助だと思うので、日頃から地域社会での付き合いを大事にする環境・風土を作るようになっていく必要がある。

#### (街頭犯罪・交通事故の少ないまちづくり)

- 防犯カメラ等は積極的に設置されており、犯罪等の抑止になっていると感じる。
- 犯罪検挙や犯罪抑止効果として防犯カメラの果たす役割は大きい。防犯カメラの設置、メンテナンスに力を入れて取り組んでほしい。
- 防犯カメラ・防犯プレートの設置は、地域の犯罪抑止と犯人検挙に大きな効果がある。

設置数は多いほど良いと思われるが、管理維持費を考えると少ない設置数で効果的な配置の工夫も必要であると思う。

- 一斉防犯活動、放置自転車啓発活動に関して、若い人は男性、女性に関わらず働いているので、参加できる人が限られている。高齢化している地域の負担になってきている。
- 各層に対する研修会は交通安全マナーの向上と事故防止に大いに役立っていると考えられる。
- 啓発活動で効果に疑問を感じるものがあり、検証して見直すことも必要である。

## 【経営課題4】 区民への必要な情報の発信

(さまざまな媒体を活用した情報発信)

- 区政の取組みを知ることができ一定の評価ができる。
- 広報紙の企業等への配布は区役所の行事等がよく分かりとても良い。
- 区の広報紙は多くの方が興味を持っている。
- 広報紙は、いろいろ工夫され分かりやすく情報発信効果が一番大きいと思う。
- 広報紙を設置個所において何部設置し、何部残るのか。

**【つながり、ふれあい、みまもり、支えあう、だれもが安心して暮らせるまちの実現】に鶴見区の取組みが有効であったと思いますか。**

- 平成30年度に鶴見区将来ビジョンで、「つながり、ふれあい、みまもり、支えあう」と分類され、その具体的取組みに落とし込まれたことがわかりやすくなった。今後、それぞれの取組みについて、評価を加え、PDCAをまわして、一層の成果が上がることを期待する。
- 区開催のイベントに多くの参加があり、地域のつながりを深めていると思う。
- すべての事業の目標として具体的で良いと思う。
- 目標が大きすぎだと思う。人と関われば関わるだけ問題やいざこざも増えるので、考えすぎも良くないと思うと特にほぼ善意でコアに動いている区民のために、ゆるく、やさしい目標と運営をお願いしたい。
- 広報つるみや地活協、社協、ネットワーク等の取組みで区民がふれあう機会、行事を増やしてほしい。